

令和8年産

仙台麦作情報

2026. 3. 26 第4号

宮城県仙台農業改良普及センター

Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

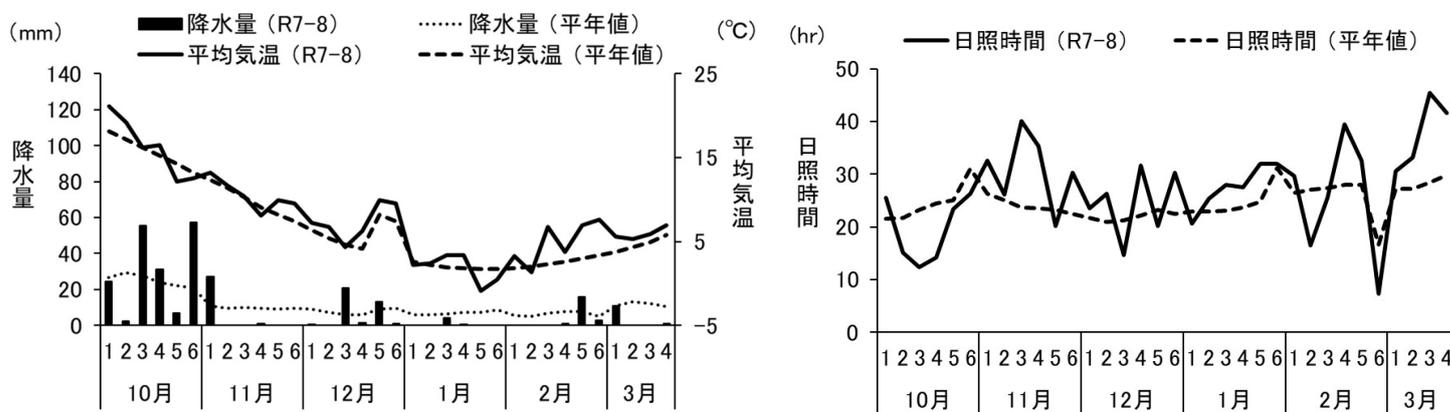
<https://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk>



今後の栽培管理のポイント

- (1) 適期追肥の実施 (2) 排水状況の確認 (3) 茎葉処理剤による雑草防除

1 気象経過 (10月第1半旬～3月第4半旬 仙台アメダス)



- ・気 温：1月下旬は平年より低くなりましたが、平年より高い傾向で推移しています。特に2月中旬から下旬はかなり高くなりました。
- ・降 水 量：1月以降、平年より少ない傾向で推移しましたが、2月下旬は多くなりました。
- ・日照時間：1月以降多い傾向で推移しましたが、2月上旬は少なくなりました。

2 大麦生育調査結果 (令和8年3月19日現在)

表1 生育調査ほにおける生育調査結果 (令和8年3月19日調査)

| 品種 | ほ場 | 条間(cm) | 播種日 | 草丈(cm) | | | 茎数(本/m ²) | | | 幼穂長(mm) | | |
|-----------|----------|--------|--------------------|--------|--------|--------|-----------------------|--------|--------|---------|------|-----|
| | | | | 本年 | 平年比(%) | 前年比(%) | 本年 | 平年比(%) | 前年比(%) | 本年 | 平年差 | 前年差 |
| ホワイトファイバー | 仙台市宮城野区 | 28.7 | 11月15日 (11月13日) | 9.1 | 67.4 | 81.3 | 314.4 | 46.2 | 69.5 | 3.3 | -0.7 | 0.2 |
| | 大和町落合報恩寺 | 22.9 | 10月20日 (10月14日) | 12.8 | 91.4 | 114.3 | 630.7 | 67.5 | 200.3 | 1.5 | -0.8 | 0.7 |

※播種日の()は前年値です。また、平年値は3か年平均です。

・仙台市ホワイトファイバー

草丈は9.1cm (平年比67%) で、平年より短く、茎数は314.4本/m² (平年比46%) と少なくなりました。幼穂長は3.3mm(平年差-0.7mm)となっており、茎立期に入っています。

・大和町ホワイトファイバー

草丈は、12.8cm（平年比91%）と平年より短くなり、莖数が630.7本/m²と平年より少ないものの、前年より多くなりました。幼穂長は、1.5mmで幼穂形成期を迎えています。

表2 各ほ場における生育ステージ予測

| 品種 | ほ場 | 減数分裂期 | 出穂期 | 開花期 |
|-----------|---------|-------|-------|-------|
| ホワイトファイバー | 仙台市宮城野区 | 4月14日 | 4月21日 | 4月28日 |
| | 大和町落合 | 4月24日 | 4月30日 | 5月7日 |

※仙台市のほ場は仙台アメダス、大和町のほ場は大衡アメダスの気象データを用いています。現時点での予測値であるため、今後の天候によって前後することが考えられます。実際のほ場の状況を確認して適期管理を実施してください。



3 今後の栽培管理

今後も気温が平年より高い傾向が見込まれており、生育が早いと予想されます。
適宜生育ステージを確認し、各作業が遅れないようにしましょう。

(1) 適期追肥の実施

【幼穂形成期の追肥】

- ・ 追肥時期：幼穂長 2～3 mm の時期
- ・ 麦類は幼穂長が 2 mm を超える頃から莖立ちし、幼穂や節間の伸長が急激に進むため、この頃の窒素栄養状態の悪化は有効茎歩合の低下を招きます。
- ・ **効果：穂数の増加**

【減数分裂期の追肥】

- ・ 追肥時期：幼穂長 3 cm の時期
 - ・ 今後気温が平年よりも高くなると予想されるため、適宜生育ステージを確認しましょう。
 - ・ **効果：1穂粒数の増加、千粒重・容積重の向上**
 - ・ 平年より穂数が多いほ場では、細麦にならないように減数分裂期の追肥を確実にいきましょう。
- ※減数分裂期から追肥時期が遅れると、硬質麦の原因となる恐れがあります。

★追肥量については表3（追肥の目安）をご覧ください。

表3 追肥の目安

| 追肥の種類 (生育ステージ) | | 幼穂形成期 (幼穂長2～3mm) | 減数分裂期 (幼穂長3cm) | 穂揃期 (8～9割が出穂) |
|-------------------|---------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|
| 目的 | | 有効茎歩合増加 (穂数の確保) | 一穂粒数の増加 登熟良化 | 小麦の子実タンパク質 含有率の向上 |
| 大麦 | 時期 | 3月上～中旬 | 4月上～中旬 | 4月中～下旬 |
| | 10a当たり 施用量 | 窒素成分2.5kg (硫安12kg) | 窒素成分2.5kg (硫安12kg) | 硬質麦防止のため 実施しない |
| 小麦 | 時期 | 3月下旬～4月上旬 | 4月下旬 | 5月中旬 |
| | 10a当たり 施用量 | 窒素成分2.5kg (硫安12kg) | 窒素成分5kg (硫安25kg) | 窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg) |

※時期はおおよその目安です。実際にはほ場の幼穂長を確認し、追肥時期を判断しましょう。

※大豆後のほ場でも、生育旺盛の場合を除き、規定量の追肥を行っても問題ありません。

 **追肥量が多すぎると倒伏の原因となります。適期・適量施用に努めましょう。**

(2)排水状況の確認

- ・降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。「暗きよの再点検（閉じていないか）」、「明きよの手直し」を行いましょう。
- ・**節間伸長期～出穂期に湿害が及ぼす影響**→弱小分けつの枯死、穂数の減少、穂の縮小化

(3)茎葉処理剤による雑草防除

- ・気温の上昇とともに雑草の発生が目立ってきています。麦の生育ステージを確認して、除草剤が散布可能な場合は、雑草の発生状況に応じて薬剤散布を検討しましょう。

★使用可能な除草剤については下表を参照してください。

表4 麦類の使用可能な除草剤（令和8年3月18日現在）

| 薬剤 | 作物 | 適用雑草 | 10a当たり使用量 (散布液量) | 使用時期 | 本剤の 使用回数 | 使用方法 |
|----------------|------------|---------------------|--|--|-------------|------------------|
| ハーモニーDF | 小麦 | 一年生広葉雑草 スズメノテッポウ | 5～10g (通常散布：50～100L) (少量散布：25～50L) | 播種後～節間伸長前 | 1回 | 雑草茎葉散布 又は全面散布 |
| | | 一年生広葉雑草 | 3～10g (通常散布：50～100L) (少量散布：25～50L) | 節間伸長開始期～穂ばらみ期 ただし収穫45日前まで | | |
| MCPソーダ塩 | 麦類 (秋播) | 一年生及び 多年生広葉雑草 | 200～300g (70～100L) | 幼穂形成期 ただし収穫45日前まで | | |
| エコパート フロアブル | 小麦 (秋播) | 一年生広葉雑草 | 50～100mL (100L) | 小麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2～4葉期、 ヤエムグラ2～6節期) ただし収穫45日前まで | 2回以内 | |

※最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。

※農薬使用の際に飛散防止対策を講じたうえ、使用してください。

○1 か月予報（仙台管区气象台 令和8年3月26日発表）

| | |
|---------------------|---|
| 向こう1か月(3月28日～4月27日) | 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高い見込みです。また、期間の前半は気温がかなり高く、向こう1か月の降水量、日照時間はほぼ平年並の見込みです。 |
| 1週目（3月28日～4月3日） | 気温は平年に比べて高い確率が80%です。 |
| 2週目（4月4日～4月10日） | 気温は平年に比べて高い確率が70%です。 |
| 3週目（4月11日～4月24日） | 気温は平年に比べて高い確率が50%です。 |

～令和8年春の農作業安全確認運動実施中（令和8年3月1日から6月30日まで）～

運動スローガン『徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策』

農作業事故の防止には、事故の発生状況や安全対策を「知る」ことが第一歩となります。
今後、地域で開催される安全研修に積極的に参加し、具体的な行動の変化につなげましょう。